

ヒメウス

Semiaquilegia adoxoides (DC.) Makino

キンポウゲ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

個体数がごく少ない分類群である。全国的な分布域からも重要である。(現況:RO)

形態

楕円形の塊茎の先に数個の根出葉と数本の花茎をつける。根出葉は長い柄のある1回3出葉で小葉はさらに深裂する。葉の裏面は紫を帯びる。花は小さく、白くて紅色を帯び、枝の先に下向きに1個つく。距は発達しない。

国内分布

本州(関東地方以西)、四国、九州に分布する。

県内分布

中能登区、及び南加賀区のヤブツバキクラス域に分布する。

生態など

高さ10~30cmになり、全体的に繊弱な小形多年生草本である。開花期は4~5月。果実は袋果で上向きにつき、なかに卵形で黒色の種子をつくる。

生育環境

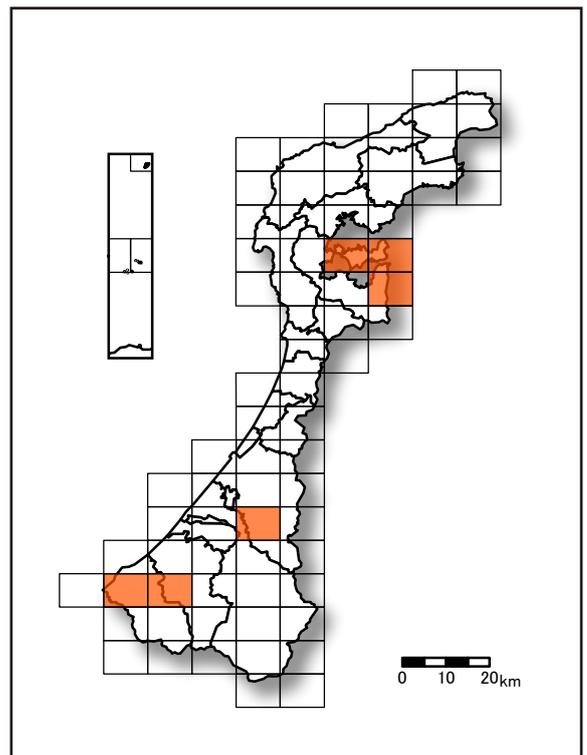
人里に近い山すそや石垣や林縁に生える。

危険要因

森林伐採、道路工事、自然遷移。



小野ふみゑ・2004年4月11日・七尾市



県内の分布